

# 国立看護大学校看護学部看護学科

## 学科試験

《英語ⅠⅡ・英語表現／60分》知識問題・長文読解・マンガ・ことわざ、など《国語①／60分》評論3問（古典評論1問含む）・小説1問、など《数学ⅠA／60分》小問・確率・三角比・図形、など《化学基礎／80分》発生・光合成のグラフ、など《生物基礎・生物／80分》遺伝・呼吸・遺伝子とゲノム、など

### ●先輩から一言

センターの過去問を使用し、時間内に解ききる練習をしました。内容はセンターで充分だと思えます。ただし、理科は計算が多いのですが、出題傾向はあまり変わらないので過去問をたくさん解きましょう。例年に比べ英語の第1問の長文が短く、時間に余裕がありました。四コママンガは比較的点が取りやすいので最後に焦ってミスしないように気をつけてください。国語は時間が本当に足りません。1題25分のペースで解いてください。数学は穴埋めなのでミスしないようにしてください。

## 面接

受験生1人に対して面接者3人／8～14分

〈質問内容〉看護師になろうと思ったきっかけは何か・緊張しているか・看護体験から何を学んだか・自分の健康の秘訣・部活動ではどのような活動をするか・高校生活の一番の思い出・家から学校への道のり、自宅から通うのか・どんな看護師になりたいか・(卒業後、国立成育医療研究センターに就職したいと書いたの)どうして成育で働きたいのか・委員会ではどのような活動をしていたか・長所、短所・看護師以外の医療従事者になることを考えているか・ストレスを解消するとき何をするか・何かを続けるコツは何か・どのような分野に進みたいか・健康面で心配なことはあるか・今まで大きな病気にかかったことはあるか、いつ頃か・高校生活で力を入れてきたことは何か・併願校は、第1志望はどこか・看護師になることについての親の意見、など

### ●先輩から一言

控室では誰も話していませんでした。面接室はA～Gに分かれていました。荷物は面接室には持って入らず、廊下の机の上に置いておき、受験票だけを持って入室します。面接は時々笑いが出たり、とても和やかでした。面接者の方も笑顔で話しながら聞いて下さったので、話しやすかったです。志望理由書や調査書を見ながら質問をしていました。1人ずつ順番に聞き、受験生が話している間はメモを取っていたので、ずっと目が合ったままということはありませんでした。受験生が笑顔で話せば、面接者は笑顔で聞いて下さるので、明るく笑顔で話すことを意識し、挨拶をしっかりすることをお勧めします。どんな質問が来ても落ち着いて、何を聞かれているのかを整理して答えるといいと思います。

実施せず

## 小論文

### ●先輩からのアドバイス

試験科目が多いので苦手科目のカバーができるように得意なものも伸ばしておくといいと思います。国語はセンターと似ていると言われていたのでセンター試験の問題でも練習しました。とにかく時間が足りないのが慣れが必要。今年の英語は長文も短くなっていますが、ことわざの問題は見たことがないものでした。入学してからも仲間と一緒に頑張ったり、最先端の医療を学ぶことができる大学だと思います。ぜひ頑張ってください。

## 面接試験会場見取り図

